ディサースリア臨床研究　投稿規定

1. 本会誌は日本ディサースリア臨床研究会が発行する機関誌であり，ディサースリア臨床研究の進歩，発展に寄与することを目的とします．投稿者の筆頭著者は，本研究会の正・学生会員に限ります．
2. 投稿論文は和文とし，他誌へ未発表のものに限ります．掲載後に二重投稿であることが発覚した場合は撤回となります．
3. 論文の種類は総説，原著，症例報告，短報，臨床ヒントとし，投稿時に希望種別を明記して下さい．
4. 本文はWindows版のMicrosoft Wordを用いて下さい．A4判の用紙に1行40字×20行（1ページ当たり800字）で作成してください．図，表，写真については，Microsoft Word，Excel， PowerPoint を用いてください．写真については，JPEG または TIFF の単独データでもかまいません．なお，写真の解像度は 300dpi 以上を目安としてください．
5. 原稿の刷り上がりは原則として図表も含めて，原著，症例報告が5頁，短報，臨床ヒントが3頁程度とします．刷り上がり1頁の文字数は1600字～2000字を目安にして下さい（図表は大きさにより適宜換算して下さい）．
6. 編集委員会が特に認めた場合は頁の超過も可能ですが，その際は頁の印刷代は著者がご負担下さい．また，特に作図を要する図表はカラー印刷の実費は著者が負担するものとします．
7. 第1頁に，論文種類（原著・症例報告・短報など），題名，300字以内の要旨（原著・症例報告のみ，短報は不要），キーワード，著者（共著者）の姓名，所属，およびその所在地を明記して下さい．なお，著者（共著者）名には必ずふりがなとローマ字表記をつけて下さい．また，著者（校正の担当者）の連絡先（所在地，電話番号，ファックス番号，メールアドレス）も明記して下さい．
8. 文献の書き方は，文中では引用順に１）,２）,３）……の肩番号をつけ，本文末に次のように記載して下さい．

ａ．雑誌の場合

著者名（3名まで明記し，それ以上の場合には「，他」「，et al」を用いて省略する）：題名．

雑誌名（略誌名，欧文誌はIndex Medicusに準ずる）,巻：通巻頁，年次（西暦）．

Mathieson L, Hirani S, Esptein R, et al: Laryngeal manual therapy: a preliminary study to

examine its treatment effects in the management of muscle tension dysphonia. J. Voice,

23:352-366, 2009.

城本　修：ディサースリアにおける音声治療の現状と展望．ディサースリア臨床研究，１：

6-12，2012.

ｂ．単行本（単著）の場合

著者名：書名．発行社名，発行地，頁，年次（西暦）．

西尾正輝：標準ディサースリア検査．インテルナ出版，東京，25-26頁，2004．

ｃ．単行本（分担執筆）の場合

著者名（3名まで明記し，それ以上の場合には「，他」「，et al」を用いて省略する）：題名．

編者名「書名」，発行社名，発行地，頁，年次（西暦）．

西尾正輝：運動性発話障害．伊藤元信，笹沼澄子（編）「新編言語治療マニュアル」， 医歯

薬出版，東京，271-305 頁，2002．

1. 原稿の採否，論文の種類，掲載の順序などは編集委員会にご一任下さい．
2. 本会誌の「会員からのVoice」のコーナーへの投稿は，本研究会の正・学生会員からに限ります．内容はディサースリアや嚥下障害の臨床に関するものとします．文字数は500字程度とし、タイトル、所属、氏名を明記して下さい．特定個人や団体を誹謗中傷は一切認められません．必要に応じて若干の修正の依頼をお願いすることがあります．採否については論文と同様に編集委員会にご一任下さい．
3. 投稿は必要書類（原稿ならびに図表）を添付して編集委員会（edit@dysarthrias.com）宛てにメールで送付して下さい． 投稿は紙媒体では受け付けておりませんので、電子媒体を使用して下さい．
4. 印刷の著者校正は初校時に一度依頼し，再校以降は編集委員会にて行います．
5. 本誌に掲載された記事，論文などの著作権は日本ディサースリア臨床研究会に帰属するものとします．

日本ディサースリア臨床研究会

【編集委員会】

原稿送付先：朝倉悦子　中山慧悟

E-mail：edit@dysarthrias.com

【事務局】

多摩リハビリテーション学院内

E-mail：info@dysarthrias.com